

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	千葉県千葉リハビリテーションセンター	階数	地上8F
建設地	千葉県千葉市	構造	S造 .RC造一部W造
用途地域	市街化調整区域、指定なし	平均居住人員	340 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院、児童福祉施設等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2023年3月10日
敷地面積	40,180 m ²	作成者	株式会社設計
建築面積	8,986 m ²	確認日	2023年3月10日
延床面積	38,645 m ²	確認者	株式会社設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%
②建築物の取組み 87%
③上記+②以外の 87%
④上記+ 87%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.6

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 4.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.7

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
<ul style="list-style-type: none"> 利用者が前向きな気持ちで回復に向かえる施設づくり 豊かな自然環境を取り込み、自然を身近に感じられるように配慮 車いす利用者が多い施設特性より、バリアフリーに配慮した建築計画 		
<h4>Q1 室内環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> 病室は大型開口部の設置やベッド毎に照明を個別制御により良好な療養環境に配慮 居住域は自然採光・自然通風を感じられるように配慮した建築計画 	<h4>Q2 サービス性能</h4> <ul style="list-style-type: none"> 病室は十分な広さおよび高さを確保し、療養環境の向上に配慮 80年の長寿命建築を目指した耐久性の確保 維持管理のしやすい更新性に配慮した計画 	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <ul style="list-style-type: none"> 既存樹林や沿道の植栽帯を活かすことで周辺環境に配慮 患者が利用できる、触れることができる緑地・植栽を地上、テラスに配置する計画
<h4>LR1 エネルギー</h4> <ul style="list-style-type: none"> 複層LOW-Eガラスの採用や日射遮蔽ルーバーにより外皮性能の確保による熱負荷軽減に配慮 部門ごとに負荷種別(空調や照明など)での計測を計画 太陽光発電による自然エネルギーの利用 	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <ul style="list-style-type: none"> 節水型機器の採用により、省資源となるよう配慮 井水利用による環境負荷低減へ配慮 	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> 敷地内に十分な駐車スペースおよび駐輪スペースを設置し、車両出入口は距離を確保することで、周辺道路の渋滞要因とならないよう配慮

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される